

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
AIAI PLUS 今井		2025年 3 月 10 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	基準人員を満たしていれば上階との分割が可能のため年齢に応じた支援ができる利用人数や年齢に合わせて1階と3階を上手く工夫していると思う。学習、運動をグループに分けて同時におこない入れ替えをしている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	フォームを使用しているためグラフ化できる。	回収の把握がしづらいためアドレス入力を求め未回収についてはリマインドし100%の回収率になるよう改善が必要。保護者対応がスムーズにできない事があり、お待たせしてしまうことがある為、簡潔にお話をする事が出来ていない事があります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	動線が長いがスペース毎に子どもが活動しやすいように環境設定している。	おもちゃは子供達の目や手の届く場所ではない方がよいと思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	活動スペースを分けている。使用した物の消毒等を日々行っている。	普段使っているところや階段にゴミが落ちている際は職員が利用する子どもより先に気づくべき点だなと感じました。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	不穏時等落ち着けるスペースを確保している。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	3	周知事項は全員が把握できるようにしている。毎日の朝、昼礼の時に話し合いの場として活用していく。	職員間の連携がさらに必要だと思います。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	保護者の意向に可能な限り応えられるよう努力している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2		職員間の意思疎通をさらに図れるよう、カンファレンス等の有効活用が出来るといいと思います。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1	第三者委員は配置されている。施設外の監査等で指摘を受けた部分については是正している。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	定期的に研修やビデオリファレンスを行っている。	
11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	個々の特性や能力に合わせプログラム内容に沿って提供している。		
12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	保護者のニーズを組み込みアセスメントに基づき作成している。	対象者全員分のアセスメントの時間をとります。	
13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	2	日々の支援の様子を共有し次回の課題を検討している。		
14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1	共有された課題を内容に沿って支援をしている		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	不穏時の分析を行い衝動性のある行動が見られた場合は行動観察記録を作成する	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	就園や就学に向けての支援や個々に合わせた内容を設定している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	個別支援は担当職員が担当するが子ども年齢等に配慮してプログラムの立案を日々行っている。 グループで学習、運動を行う場合等、担当職員の打ち合わせをしてから支援には入っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	ルールのある設定遊びや運動を取り入れている	支援経過を確認したり、前回担当した職員等から話を聞いたりしてから支援に入っています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	微細運動・学習プログラムは原則個別で行い運動プログラムは小集団又は集団で行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	日報を作成し勤務時間の動きを個々に確認し職員間で連携して支援を行なっている。 朝礼や昼礼で行うことができている。 打ち合わせは、日によってできない時もあるが必要なことは伝えてもらっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	4	終礼や職員間で支援の振り返りを行なっている。 保護者からの話や引き継ぎ事項等が上手くできていない時がある。	昼礼時に午後の支援について話す場面で、前回の様子を話し合ったりしています。 職員間のミーティングが必要だと思います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	支援記録は紙面と入力で徹底している。特記事項に保護者からの意見や相談事項も今後は入力していく。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	達成して目標については支援内容の変更の提案を検討している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	関係機関と支援の方向性についての擦り合わせを行っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	必要に応じて連携し体制を整えている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	通所時の様子や支援の方法等についての共有を行っている。必要に応じて様子伺いを実施している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	要請に応じて情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					

	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	4		発達支援センターの担当者とは情報共有をする機会はあるが、助言等を受ける機会が設けられていないため今後連携が図れるようなしていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	8	プログラムに特化した支援のため地域交流の機会がない。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	支援後のフィードバックで共通理解を図っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	7	今年度は行っていないが必要に応じて個別の時間を設けている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時にご理解頂ける形で説明をしている。また、必要事項等は掲示やファイリングし目にする事ができるようにしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	発語のないお子さんについては保護者から聞き取りし意向を確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	定期的に説明を行い説明時にニーズの変更があれば修正している。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	1	時間を設けたり電話で対応している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	7	父母の会は発足していない。今後親睦会等の時間が設けられるよう企画していく。	上記のような機会があれば良いと思う。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	要望により日時の調整を行い実施したり支援時間に時間を設け対応している。定期的ではないが、フィードバックの時に相談があれば施設長に相談したりしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	月に一度通信を発行。ブログを営業日に更新している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	書類等は鍵付き書庫で保管。ファイリング等の必要時以外は管理者が施錠し管理している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	わかりやすい言葉やゆっくり話す事を心がけている。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	8	行事等がないため地域住民を招待する機会がない。		
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	貴社の統一されたマニュアルに沿って数ヶ月に一度訓練を実施。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	避難所までの避難訓練を実施。今後緊急連絡や引き渡し訓練を実施する。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	1	疾患やてんかん等における服薬や発作等の状況の確認は通所時に確認を行っている。	

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	4	給食やおやつを提供がないためアレルギー等の把握のみ行なっている。食事の機会がない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	定期的に研修を行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	2	書面にて保護者に周知する準備を行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	報告書にて共有。改善策等の検討を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	定期的に実施。全職員が参加できるように動画等も利用している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	個別支援計画説明時に身体拘束や訓練室の施設についての詳細を説明しご理解頂いている。支援計画にも記載している。	